

2. チベット詩のリズムについて

チベット語の詩のリズムは、「4 (2 + 2) + 5 (2 + 3)」のものがいちばん多いように思います。

??

??

??

??

ちゃク つえル わ たん ちょ ちん しゃク ぱ
たん |

じえ す い らん くる しん そル わ い |

げ わ ちゅん せ だク き ち さク ぱ |

たむ ちえ ぞク ペ ちゃん ちゅプ ちる ンご
お |

これを「8 (4 + 4) + 9 (4 + 5)」のリズムで日本語に翻訳しています。そうすると、チベット語と一緒に読む事ができます。

礼拝ならびに供養と懺悔もて |

随喜と請願長寿の祈願もて |

われが積みたるあらゆる功德をば |

一切有情の菩提に廻向せん |

もうひとつ、「4 (2 + 2) + 3」というリズムのものもあります。

????????????????????
????????????????????
????????????????????
????????????????????

せむ ちえん なむ き さむ ぱ たん |
ろ い ちえ たク じ たる わ |
ちえ ちゆん とうん もん てク ぱ い |
ちよ き こる ろ こる とう そル |

これは「8 (4 + 4) + 5」のリズムで日本語に翻訳しますと、七五調と同じ感じになります。

それぞれ有情の考えと |
理解の違いに応じつつ |
大乘小乗共通乗 |
法輪転じたまえかし |

ほとんどはこのどちらかなのですが、ときどき変わったリズムのものもあります。たとえば、「二十一ターラ菩薩賛」は「4 + 4」のリズムです。

??

??

??

??

ちゃク つえル どル ま にゆる ま ぱ も |
ちえん に け ちク るク たん だ ま |
じク てん すむ ごん ちゆ きえ しえル き |
け さる ちえ わ れ に ちん ま |

礼 (らい) せんターラーすばやき勇者 |
おん眼は刹那のいかづちのごと |
世間の守護尊蓮華のみ顔で |
花びらよりは生まれたまえり |

日本語ではこれを「8 + 8」で翻訳していますが、いつものリズムと違うので、勘が狂いっぱなしでした。